

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2024年度 パフォーマンス向上会議情報(2024年4月9日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2024年4月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【J1タンクエリアH1タンク水位計の故障について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤において、J1タンクエリアH1タンク水位計の指示が計測範囲を逸脱していることを確認。 現場確認の結果、水位計の故障と判断。 また、現場確認時に、当該タンク廻りにおける漏えいがないことを確認。 隣接タンクとの連結弁が開状態であり、隣接タンクの水位により当該タンクの水位が確認できているため、水位の監視に影響はなし。 今後、当該水位計の交換を実施予定。</p>	GⅢ	4月5日
2	<p>【J4タンクエリアL1タンク水位計の故障について】 当社運転員が、免震重要棟集中監視室の監視盤において、J4タンクエリアL1タンクの水位計の指示がふらついていることを確認。 当該水位計を初期状態に戻し計測するも、ふらつきが解消しないことから、水位計の故障と判断。 また、現場確認時に、当該タンク廻りにおける漏えいがないことを確認。 現在の水位が隣接タンクとの連結弁位置より低く、連結弁が開状態であっても、当該タンクの水位が確認できないため、水位計を交換するまでは、1日/1回のパトロール時に漏えいがないことを確認する。 今後、当該水位計の交換を実施予定。</p>	GⅢ	4月5日